

ふりかえりの進め方

須藤功平

株式会社クリアコード

実践リーダーブルコード

2015-03-06

目的

リーダブルの 基準を共有

おさらい：今日の体験内容

- ✓ 「まず自分が読み始める」
- ✓ 「リーダブルコードを探す」
(読みにくいコードは今は置いておく)
- ✓ 「**リーダブルの基準を共有**」

ポイント

リーダブルじゃないコードより
リーダブルなコード

リーダーブルじゃないコード

- ✓ 見つけやすい
 - ✓ 異質
 - ✓ 読んでいると詰まる
- ✓ 過剰に指摘したくなる
 - ✓ やってはいけません

過剰な指摘

やってはいけません

- ✓ 必要十分な事実伝達以外の否定的な情報を過剰に含む指摘
必要十分な事実伝達がない場合もある
- ✓ 必要十分な事実伝達：
〇〇な理由で××ではなく△△だ
本に書いているから、は理由になっていない
- ✓ 優越感を得られる

リーダブルなコード

- ✓ 見つけにくい
 - ✓ まわりのコードになじんでいるから
 - ✓ すーっと理解できてひっかからない
- ✓ 今日のチャレンジ
 - ✓ 意識して見つけよう！

やること

- ✓ 各自：よいコードを共有
- ✓ グループ内で整理
- ✓ 発表資料をまとめる

リーダブルなコードを共有

- ✓ 他の人に説明すること
 - ✓ 実際のコード
 - ✓ リーダブルな理由
 - ✓ 見つけたきっかけ
- ✓ ポイント
 - ✓ 他の人と同じでもよい
 - ✓ 同じ→チームでリーダブルの基準ができたということ

共有方法

- ✓ 20分
- ✓ コードを見せながら説明
 - ✓ 自分の画面を直接見せる
 - ✓ 4人ならみんなでのぞけるはず

共有内容

- ✓ だれかがgroup-memo.mdに書く
- ✓ GitHubにpush
- ✓ 内容:
 - ✓ 書き方の名前
 - ✓ コードへのリンク
 - ✓ リーダブルな理由
 - ✓ 見つけたきっかけ

全体に共有

- ✓ グループごとに紹介
 - ✓ 書き方の名前
 - ✓ コードへのリンク
 - ✓ リーダブルな理由
 - ✓ 見つけたきっかけ
- ✓ コードを映す人 (1人)
- ✓ 説明をする人 (1人1つ紹介)